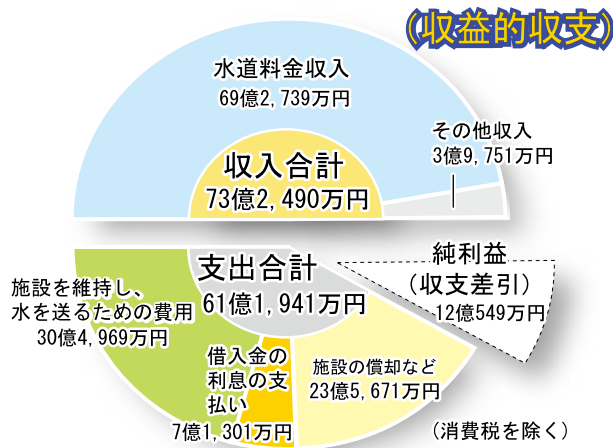


# 平成22年度 水道事業会計決算

南海地震対策として施設の耐震化への取組が急がれる一方、水需要の低迷から厳しい状況に置かれていますが、経営改善の継続により健全財政を確保するとともにサービスの向上に心がけ、市民に信頼される水道事業を目指しています。

## ご家庭に給水するための収入支出



収入は約73億3千万円、支出は約61億2千万円で純利益は約12億1千万円となりました（消費税を除く）。

この純利益は、資本的支出における借入金（企業債）の元金返済に充てるため減債積立金に積み立てます。

また、収入のうち料金収入については、前年度に比べて使用水量が増加したため約3千万円の増収となりました。

## 平成22年度に実施した主な事業

### ■ 送配水施設整備事業

長浜ほかで配水管を約3.1キロメートル布設しました。

### ■ 漏水防止対策事業

相模町ほかで約10.5キロメートルの老朽管の布設替をおこないました。また市内全域で延べ約1,329キロメートルの漏水調査をおこない、514件の漏水箇所を発見しました。



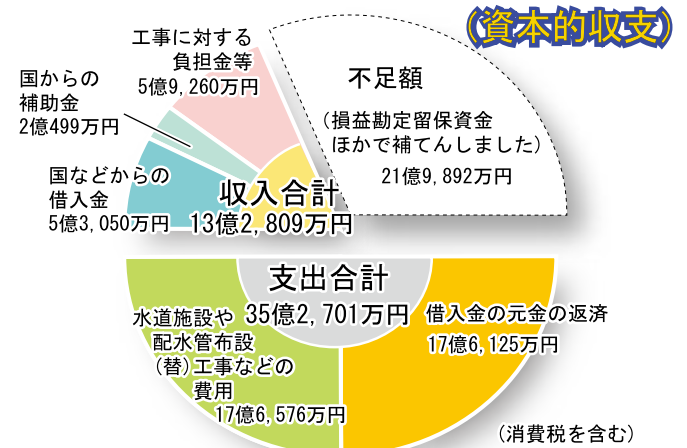
### ■ 災害対策事業

鏡川第1取水所の耐震性詳細診断をおこないました。

### ■ 増補改良事業

入明町ほかで配水管布設替・移設工事をおこないました。平成21年度からの継続事業である旭浄水場（配水施設）更新事業は、平成22年度に場内の仮棧橋築造工

## 水道施設を整備・拡充するための収入支出



収入は約13億3千万円、支出は約35億3千万円となり、約22億円の収支不足となりました（消費税を含む）。

この不足額につきましては、損益勘定留保資金（企業会計上、収益的収支において、減価償却費などの現金支出を伴わずに内部に留保される資金）、減債積立金などで補てんしました。

また、企業債の残高は約258億8千万円となっています。

事が完成し、引き続き配水池築造工事を進めています。また、平成22年度からの継続事業である旭浄水場（導水施設）更新事業につきましては、計画期間を3年間に延長しましたが、平成22年度に契約を締結し、現在工事を進めています。



また、水質管理のため自動水質監視システムの設備工事などをおこないました。

### ■ 簡易水道施設改良事業

国の補助事業としておこなう鏡小浜簡易水道施設整備事業にかかる実施設計などをおこないました。

### ■ 水源地域対策事業

水源かん養林の整備をおこなうとともに、水源地域との交流事業として「水のふるさとフェスティバル」や「早明浦ダム見学バスツアー」などをおこないました。